

3. 審 査 基 準

(1) 記載上の調査留意事項

1. 品種名の記載については、和名はカタカナで記載し、漢字名のあるものは付記する。また、ローマ字（ヘボン式）でも記載する。

学名は原則として栽培植物に関する国際命名規約に準拠して記載する。尚、不明確なものについては空欄にし、後に財団法人日本花の会桜研究専門委員会で検討する。

例（和名）ヤマザクラ （漢字名）山桜、（ローマ字）Yama-Zakura （学名）*P. jamasakura* Sieb. （系統）ヤマザクラ

2. 調査は同一個体を調査する。また、調査場所、その個体が生育している環境状況及び樹令（推定）について簡単に付記する。
3. ソメイヨシノを標準品種として比較観察する。
4. 「重要な形質」ごとの特性の欄に掲げた文字（例「短、中、長」）から調査品種が該当すると思われる文字を○で囲み、そのいずれにも該当しない場合はその形質の特性を任意に記述する。
5. 特性の備考欄には、実測値などを（ ）内に記入する。実測の場合は原則として20個以上とし、実測値の最小・最大を記入する。

例 花の大きさ 実測値（最小花径～最大花径cm）

6. 若芽、葉（表・裏）、蕾、花の色を観察する場合は参考として R. H. S. カラーチャートで測定したものを付記する。尚、測定方法は後述される「サクラにおける R. H. S. カラーチャート使用法」を準用する。
7. 各調査品種の「花」と「葉」の標本を台紙に貼る大きさで作成する。
8. 各調査品種の「花」と「葉」の写真をスライド用のカラーフィルム35mmで各々1枚ずつ撮影する。
尚、原則として「花」は1花房、「葉」は表と裏で1枚とする。
9. 引用文献は付記する。

(2) 品種特性調査基準

重要な形質項目	特 別 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1. 樹 形	円柱状	箒 状	盃 状	広卵状	広円垂状	球 状	傘 状	枝垂状	
2. 樹 高			低木性		亜高木性		高木性		
3. 樹 皮									
(1) 樹幹の色	灰 色	灰褐色	褐 色	紫褐色					
(2) 樹皮の光沢	無								有
(3) 皮目	無		少		中		多		
(4) 皮目の並び方	横並び	縦並び							
(5) 気根の有無	無								有
(6) 樹皮の裂け方	無	横 裂	縦 裂						
4. 枝の太さ			細		中		太		
5. 枝の色	灰白色	灰褐色	褐 色						
6. 新梢の毛	無		少				多		
7. 分枝性			弱		中		強		

特性に関する具体的説明及び計測方法

模式図 図-1 (樹形)を参照

(例)

「円柱状」(アマノガワ) 「箒状」(タイザンフクン) 「盃状」(カンザン) 「広卵状」(エドヒガン) 「広円垂状」(ウワミズザクラ) 「球状」(シロタエ) 「傘状」(ショウゲツ) 「枝垂状」(ヤエベニシダレ) 落葉期の樹形を白黒の写真で撮る。原則として10～15年生のものとし、それ以外の樹令のものはコメントをつける。

尚、写真の撮影が容易でないものはスケッチをする。

「低木性」2～3 m以下 「亜高木性」3～8 m 「高木性」8 m以上

微妙な色合、濃淡の度合などについては付記する。

観察するときは樹皮の台やはこりを拭きとること。

ソメイヨシノを標準品種として「中」におき比較する。

原則として約10～15年生位のものを観察し、それ以外の場合は推定樹令を付記する。

ソメイヨシノを標準品種として「中」におき比較する。

開花枝(前年枝)の中間部を落葉期に観察する。

落葉期に日当たり側の前年枝を観察する。微妙な色合い、濃淡の度合などについては付記する。

重要な形質項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8. 葉 形									
(1) 全体の形	狭長 楕円形	楕円形	広楕円形	卵状 楕円形	倒卵状 楕円形	倒卵形	広倒卵形		
(2) 先端の形	尾形 鋭尖形	鋭尖形	鋭 形						
(3) 基部の形	くさび形	鈍 形	円 形	心 形					
9. 葉縁の形質									
(1) 葉縁(鋸歯) の状態			浅		中		深		
(2) 裂片(鋸歯) の形	単鋸歯	二重鋸歯	欠刻状 鋸歯						
(3) 裂片(鋸歯) の先端	芒 形	鋭 形	鈍 形						
(4) 裂片(鋸歯) の先端の縁の 有無	無								有
10. 葉の大きさ									
(1) 葉の長さ			短		中		長		
(2) 葉 の 幅			狭		中		広		
(3) 葉の厚さ			薄		中		厚		
11. 葉の表面の色									
(1) 若芽の色	黄緑色	緑 色	緑茶色	茶 色	紅 色				
(2) 成葉の色	緑 色	濃緑色	緑紫色	紅紫色					
12. 成葉の裏面の色	帯白色	淡緑色	緑 色	緑紫色					
13. 成葉の毛									
(1) 成葉の表面	無		少				多		

特性に関する具体的説明及び計測方法

前年枝に出た成葉を観察する。

模式図 図-2 (葉の全体の形)参照。

模式図 図-3 (葉の先端の形)参照。

模式図 図-4 (葉の基部の形)参照。 詳細については付記する。

模式図 図-5 (葉縁(鋸歯)の状態)参照。 詳細については付記する。

模式図 図-6 (裂片(鋸歯)の形)参照。

模式図 図-7 (裂片(鋸歯)の先端の形)参照。

模式図 図-8 (裂片(鋸歯)の先端の腺)参照。

新梢の生長中止期に開花枝の中間部位の中層な葉を任意にとり測定する。
ソメイヨシノ(8.0~10.0cm)を標準品種として、「中」におき比較する。
実測値(min.~max.cm)を記入する。

ソメイヨシノ(4.0~6.0cm)を標準品種として「中」におき比較する。
実測値(min.~max.cm)を記入する(「葉の長さ」に準ずる)

ソメイヨシノを標準品種として「中」におき比較する。厚さは感触で測定する。

観察時期は2~3葉が展葉はじめたとき。(「サクラのR.H.S.カラーチャート使用法」を参照)

観察時期は展葉したとき。(「サクラのR.H.S.カラーチャート使用法」を参照)

観察時期は展葉したとき。(「サクラのR.H.S.カラーチャート使用法」を参照)

葉脈上にある場合は付記する。

重要な形質の項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(2) 成葉の裏面	無		少				多		
(3) 成葉の毛の出方	伏毛	斜出毛	立毛						
14. 葉の側脈の数			少		中		多		
15. 葉柄									
(1) 葉柄の長さ			短		中		長		
(2) 葉柄の毛の多少	無		少		中		多		
(3) 葉柄の毛の出方	伏毛	斜出毛	開出毛						
16. 蜜腺									
(1) 蜜腺の有無	無								有
(2) 蜜腺の位置	葉柄上部	葉身基部							
17. 托葉の分岐性			少				多		
18. 托葉の大きさ			短		中		長		
19. 花序の形	散形状	散房状	総状						
20. 花序の花数			少		中		多		
21. 蕾の色	白色	淡紅色	紅色	濃紅色	紫紅色	黄綠色			
22. 花の向き	下垂	下向き	横向き	上向き					
23. 花の形									
(1) 花の形	一重咲	一重八重咲	半八重咲	八重咲	菊咲 (段咲無)	菊咲 (段咲有)			
(2) 花のひらき方	鐘形	半開形	かかえ咲形	平開形	広開形				

特性に関する基本的説明及び計測方法

模式図 図-9 (成華の毛の出方)参照。主脈の分岐の毛については付記する。

模式図 図-10 (葉の側脈の数)参照。葉の片側の側脈を数え、本数を付記する。ソメイヨシノ(9~11本)を「中」とする。

新梢の生長中止期に開花枝の中間部位について測定する。

ソメイヨシノ(2.0~2.5cm)を標準品種として「中」におき比較する。

実測値(min~max. cm)を記入する。

ソメイヨシノを標準品種として「中」におき比較する。

模式図 図-11 (蜜腺の位置)参照。詳細については付記する。

模式図 図-12 (挿葉の分岐性)参照。

短0.7~1.2cm(マメザクラ) 長1.4~3.0cm(オオシマザクラ)

模式図 図-13 (花序の形)参照。

ソメイヨシノを標準品種として、「中」におき比較する。(ソメイヨシノ 3~4個)

蕾形が特異なものは付記する。(「サクラのR. H. S. カラーチャート使用法」を参照)

「横向き」は方向が一定していない一般的なものも含む。

模式図 図-14-(1) (花の形)参照

模式図 図-14-(2) (花のひらき方)参照

重要な形質項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
24. 花の大きさ			小 輪		中 輪		大 輪		極大輪
25. 花 色	白 色	淡紅色	紅 色	濃紅色	紫紅色	濃紫紅色	緑黄色	複 色	
26. 花弁の形									
(1) 全体の形	狭長卵形	長卵形	卵 形	倒卵形	長楕円形	楕円形	円 形	その他	
(2) 花弁の先端 の形(切込)	無		少				多		
(3) 花弁の基部 の形	突出形	くさび形	鈍 形						
(4) 旗弁の有無	無								有
(5) 花弁の表面 の皺	無		少				多		
(6) 花弁の脈の 色			目立たない				目立つ		
27. 花弁の大きさ									
(1) 花弁の長さ	極 短		短		中		長		
(2) 花弁の幅	極 狭		狭		中		広		
28. 花弁の厚さ			薄		中		厚		
29. 花弁の数(枚)	約 5	約 6~10	約11~20	約21~50	約51~ 100	約 100 以上			

特性に関する具体説明及び計測方法

約10個の花序から20個以上の充分開花したものを自然形のままで花径を測定し、比較する。

実測値 (min~max cm) を記入する。

「小輪」約2.5cm以下(マメザクラ) 「中輪」約2.5~3.5cm(オオヤマザクラ)

「大輪」約3.5~6cm(太白) 「極大輪」6cm以上()

「白色」(オオシマザクラ) 「淡紅色」(ソメイヨシノ) 「紅色」(オオヤマザクラ) 「濃紅色」(カンザン) 「濃紫紅色」(カンヒザクラ) 「緑黄色」(ウコン) 「複色」(ギョイコウ)

複色は二色、線が入ったもの及びその他を含む。

細かい表現は付記する。

花色の観察時期は5~8分咲きのときとする。(「サクラのR.H.S. カラーチャート使用法」を参照)

模式図 図-15 (花弁全体の形)参照。

外側に近い代表的な花弁を観察の対象とする。また花弁の変化などその他は付記する。

模式図 図-16 (花弁の先端の形(切込))参照。

花の散りぎわに観察する。

約10個の花序から20個以上の花を任意にとって花弁を測定する。

原則として外側に近い花弁を測定し、測定値 (min.~max. cm) 及び花弁の測定部位を記入する。ソメイヨシノ(1.5~1.9cm)を標準品種として「中」におき比較する。

「極短」0.8cm以下 「短」0.8~1.5cm 「中」1.5~1.9cm 「長」1.9cm以上

測定は「花弁の長さ」に準ずる。

ソメイヨシノ(1.0~1.4cm)を標準品種として「中」におき比較する。

「極狭」0.6cm以下 「狭」0.6~1.0cm 「中」1.0~1.4cm 「広」1.4cm以上

感触で判断し比較する。ソメイヨシノを「中」とする。

重要な形質項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
30. 雌ずい									
(1) 雌ずいの長さ			短		中		長		
(2) 雌ずいと雄ずいの長さの比較			短		同		長		
(3) 雌ずいの数	1 本	2 本	3本以上						
(4) 雌ずいの葉化	無								有
(5) 花柱の毛の有無	無		少		中		多		
31. 雄ずい									
(1) 雄ずいの長さ			短		中		長		
(2) 雄ずいの数			少		中		多		
32. がくの形									
(1) がく筒の形	盤状形								盤状形以外
(2) 盤状形以外のがく筒の形	長鐘形	鐘形	ろと形	きかつき形	鐘状つば形	つば形	狭長つば形	筒形	狭長筒形
(3) がく筒の毛	無		少		中		多		
(4) がく裂片の形	皮針形	長卵状三角形	広卵状三角形	平低三角形	長楕円形	ひし状広卵形			
(5) がく裂片の鋸歯の有無	無								有
(6) がく裂片の毛の有無	無		少		中		多		
(7) がく裂片の色	緑色	紅緑色	紅褐色						

特性に関する具体的説明及び計測方法

約10個の花序から20個以上の花を任意にとり、雌ずいを測定する。

{ 実測値 (min~max. cm) 記入する。 (「雌ずいの長さ」は子房を含む。)
ソメイヨシノ (1.2~1.5 cm) を標準品種として「長」におき比較する。

花に着生状態で、雌ずいを基に比較する。

{ 20個以上のうちで最も多いものに○印をつける (葉化雌ずいを含める。)
詳細は付記する。

ソメイヨシノを「中」におく

約10個の花序から20個以上の花を任意にとり、外側の最も長い雄ずいを測定する。

{ 実測値 (min~max. cm) を記入する。ソメイヨシノを「中」とする。
「短」0.5 cm以下 「中」0.6~0.9 cm 「長」0.9 cm以上。

{ 実測値 (20個以上の花の雄ずいの平均本数) を記入する。
半旗弁のある雄ずいは含むが、葯のないものは含まない。ソメイヨシノを「中」とおき比較する。
(「少」25本以下 「中」25~45本 「多」45本以上)

{ 模式図 図-17 (がく筒の形) 参照

ソメイヨシノを標準品種とし「中」におき比較する。

模式図 図-18 (がく裂片形) 参照

毛の状態の特徴について付記する。

日の当たっている個の部位を主として観察する。

重要な形質項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
33. 副がくの状態 (1) 副がくの有無	無								有
(2) 副がくの数									
34. 花柄の長さ (1) 花柄の長さ	極 短		短		中		長		
(2) 小花柄の長さ			短		中		長		
35. 小花柄の太さ			細		中		太		
36. 小花柄の毛の有無	無								有
37. (小)花柄の色	黄緑色	緑 色	淡緑紅色	淡紅色	紅 色				
38. 花の香り	ほとんど無		少し有る				有		
39. 果実の大きさ			小		中		大		
40. 果実の色	黄 色	淡紅色	紅 色	紅紫色	紫紅色	黒紫色			
41. 果実の味	苦 味	酸 味	甘 味						
42. 展葉期 (1) 平年展葉期			早		中		遅		
(2) 展葉期と開花期の関係			開花前		同 時		開花後		
43. 開花期 (1) 通常開花期	極 早		早		中		遅		極 遅
(2) 通常開花期以外の開花期	無	二 季	四 季						

特性に関する具体的説明及び計測方法

数値を記入する。

{ 極短0.5 cm以下「短」0.5～1.0 cm「中」1.0～2.0 cm「長」2.0 cm以上
実測値（20個以上の平均値）を記入する。

{ ソメイヨシノ（2.0～2.5 cm）を標準として「中」におき比較する。
実測値（min～max. cm）を記入する。

ソメイヨシノを標準として「中」におき観察比較する。

日の当たっている部位を主として観察する。

{ ソメイヨシノ（1.0～1.2 cm）を標準として「中」におき比較する。
成熟時の果径（横径）を測定し、測定値（min～max cm）を記入する。

成熟時の果色を観察する。

成熟時の果実を対象とする。

{ 第1葉の展開期を観察し、ソメイヨシノを標準として「中」におき比較する。
観察の場所及び時期を付記する。

花蕾の80%が開花した時期を通常開花期とする。

{ 東京、京都におけるソメイヨシノを標準として「中」におき、花芽分化を基準として比較する。
その他の地域で観察する場合（特に九州地方の暖地及び北海道や東北などの寒冷地）は、ソメイヨシノ
の開花期を記入するとともに場所、観察時期も付記する。

重要な形質項目	特 性 区 分								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
44. 着果性	無		少				多		
45. 病害抵抗性			弱		中		強		
46. 虫害抵抗性			弱		中		強		
47. 挿木の発根の 難易		難		やや 難		やや易		易	
48. 常緑、落葉の 別			常 緑		半落葉		落 葉		
49. 樹 勢			弱		中		強		
50. 耐寒性			弱		中		強		
51. 潮害性			弱		中		強		
52. 薬害抵抗性			弱		中		強		
53. その他									

特性の具体的説明及び計測方法

{ 果実が成熟期まで着生する程度を観察する。

{ モリニア等の病害虫が着性に影響がある場合は付記する。

特定の病害に対する抵抗性が弱い又は強い場合は、その病害名を付記する。

特定の虫害に対する抵抗性が弱い又は強い場合は、その虫害名を付記する。

{ 前年枝の挿木（通常の挿木法）で行った場合とする。

{ その他の挿木法で行った場合は付記する。

東京周辺を標準とする。その他特殊なものについては観察場所を付記する。

同じ系統のものと比較する。

{ 調査事項として備考の欄に付記する。特に耐寒性については台木の影響が大であるため、今後の検討を要する。

その他の特殊性がある場合は付記する。

(3) 模 式 図

図-1 樹 形

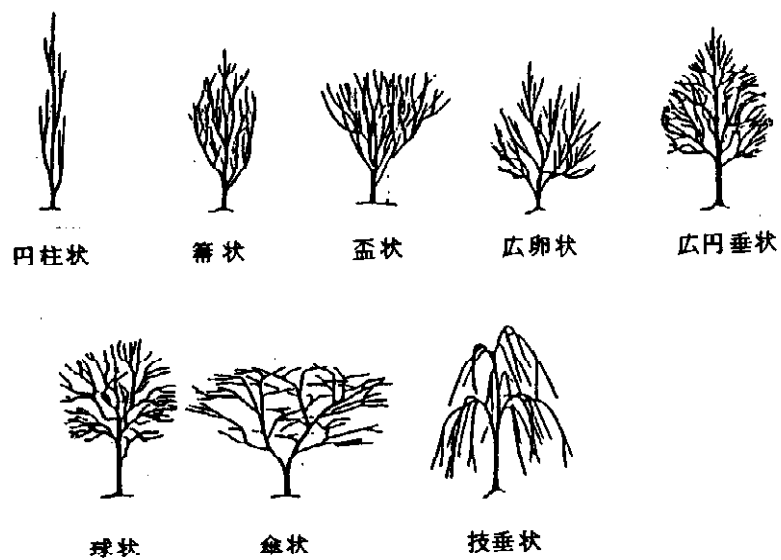


図-2 葉の全体 の形

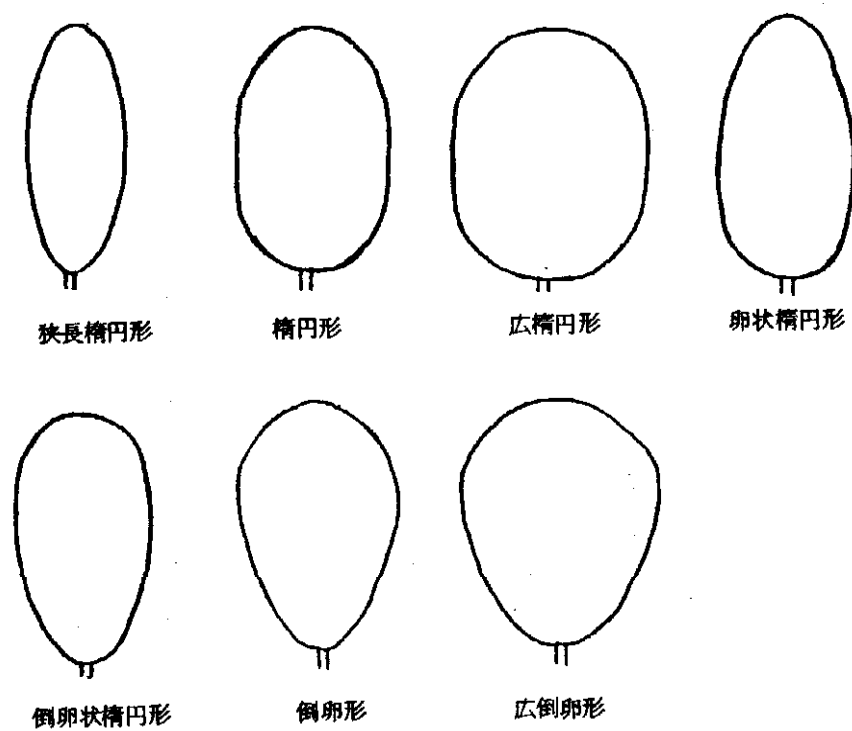


図-3 葉の先端の形

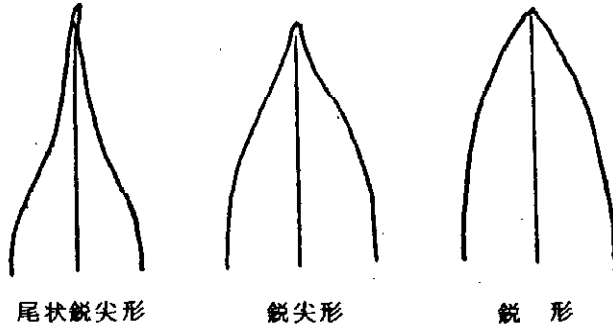


図-4 葉の基部の形

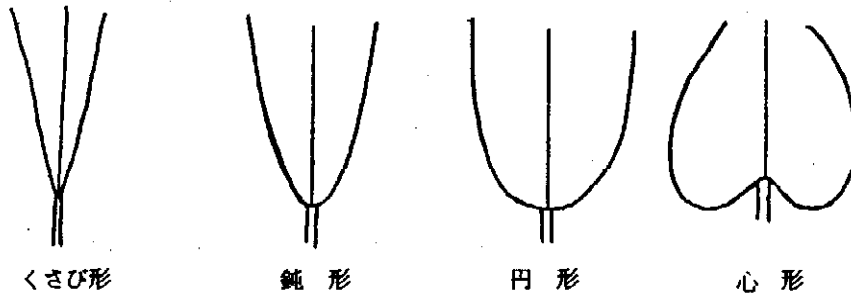


図-5 葉縁（鋸歯）の状態

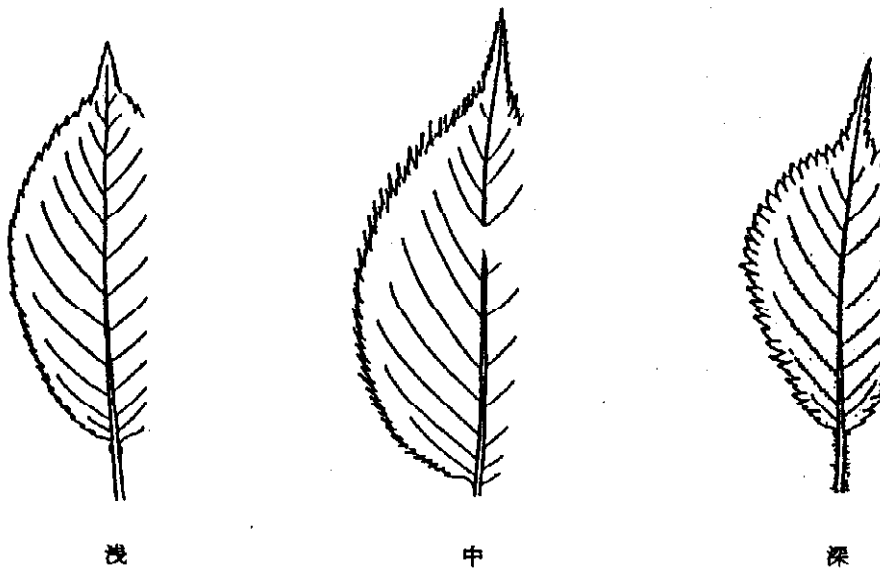


図-6 裂片（鋸歯）の形

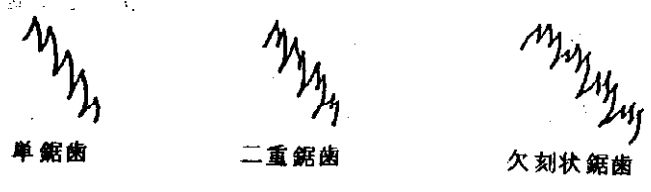


図-7 裂片（鋸歯）の先端の形



図-8 裂片（鋸歯）の先端の腺

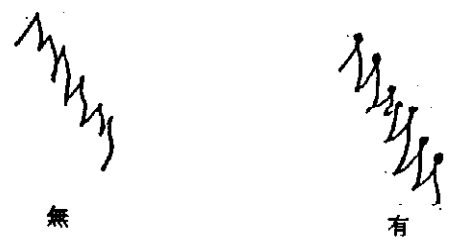
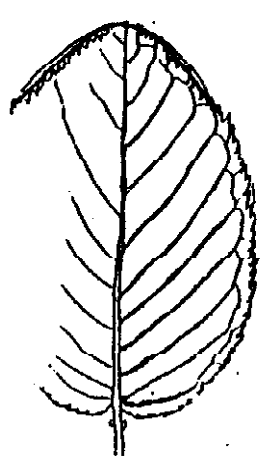
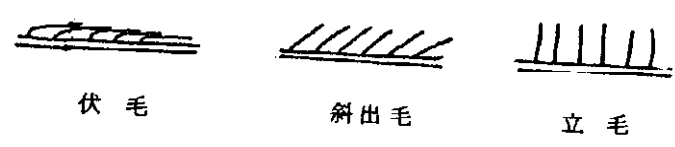


図-9 成葉の毛の出方



- ・葉縁を延長した曲線に示されるところまでの側脈
 - ・縁まで伸びている側脈
 - ・葉の右側の側脈
- 上記の側脈を数える。

図-11 蜜腺の位置

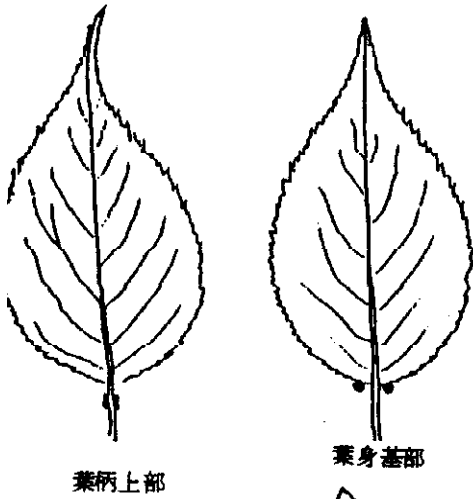


図-12
葉の分岐性

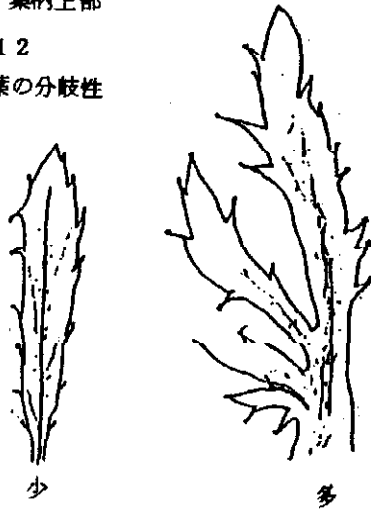


図-13 花序の形

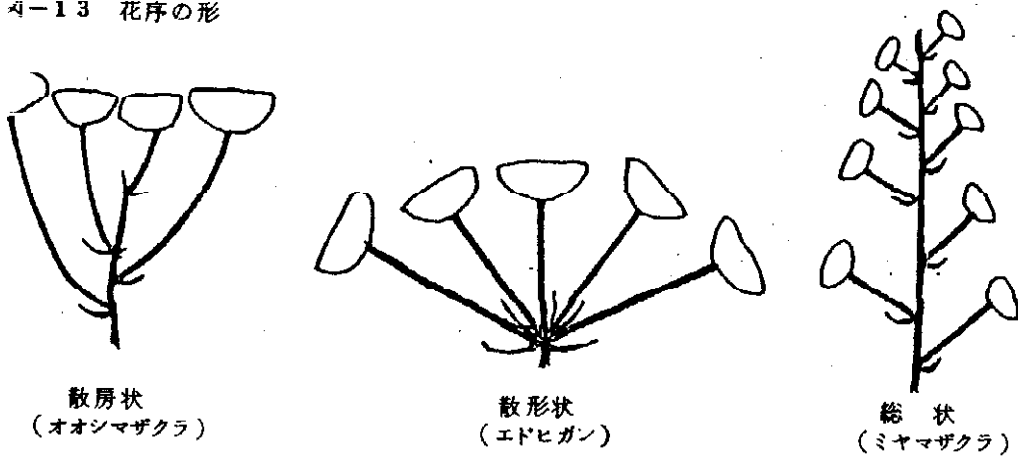


図-14 (1) 花の形

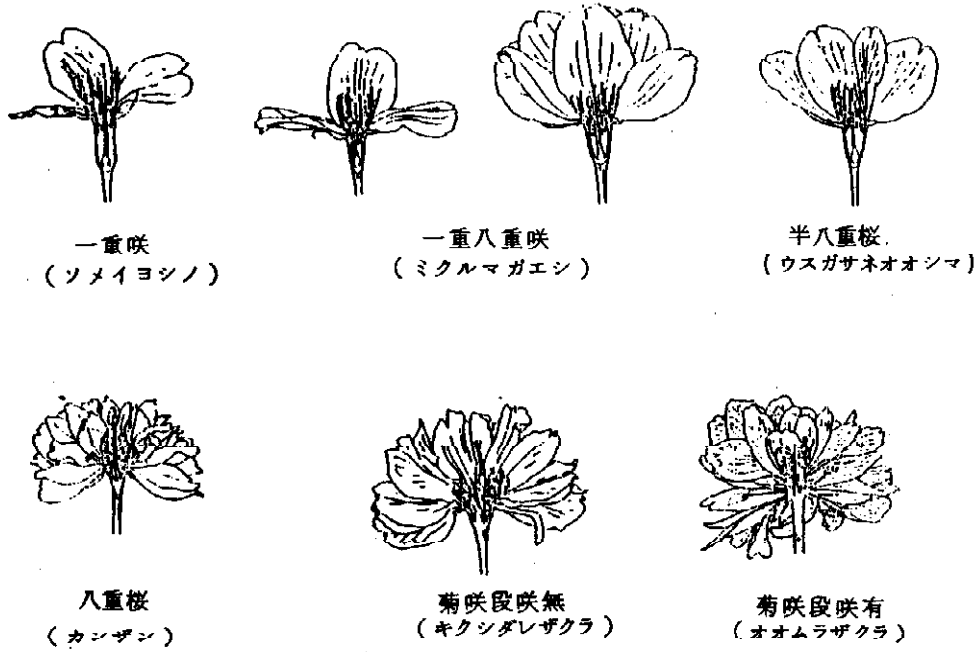


図-14 (2) 花のひらき方

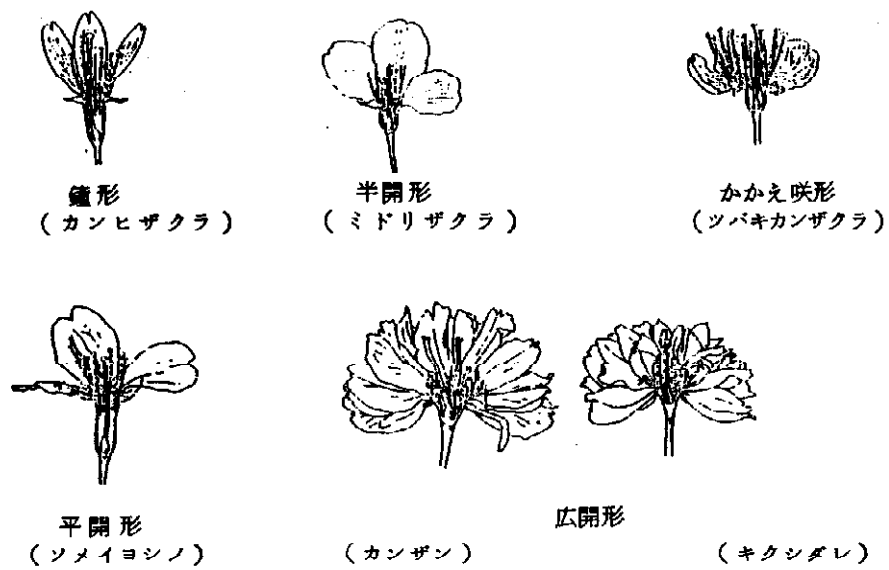


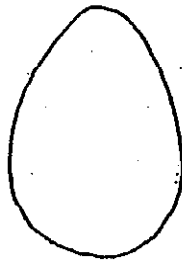
図-15 花卉全体の形



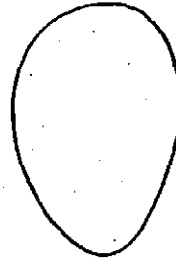
狭長卵形



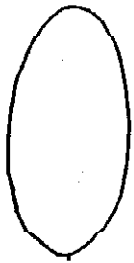
長卵形



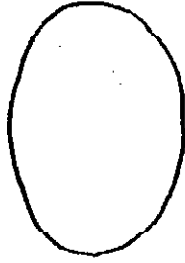
卵形



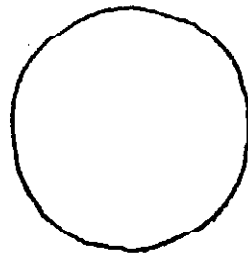
倒卵形



長楕円形



楕円形



円形

図-10 花卉の先端の形(切込)



無

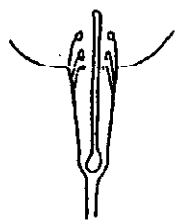


少

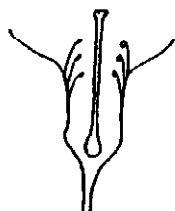


多

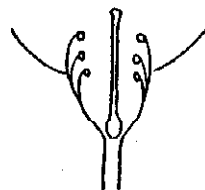
図-17 がく筒の形



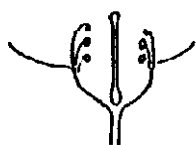
長鐘形
(ヤマザクラ)



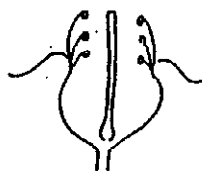
鐘形
(カンザクラ)



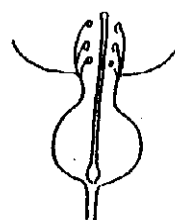
ろーと形
(フゲンゾウ)



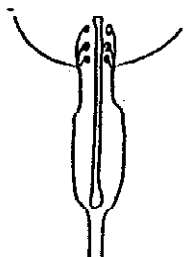
さかずき形
(シナミザクラ)



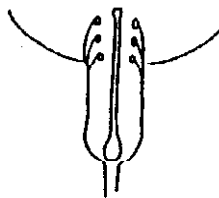
鐘状つぼ形
(ミヤマザクラ)



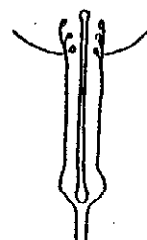
つぼ形
(エドヒガン)



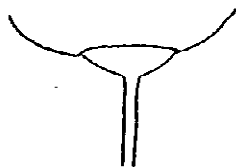
狭長つぼ形
(ソメイヨシノ)



筒形
(マメサクラ)



狭長筒形
(アモソノヲクフ)



盤状形
(キクザクラ)

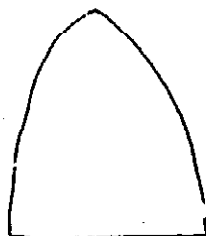
図-18 がく裂片の形



皮針形
(ヤマザクラ)



長卵状三角形
(ソメイヨシノ)



広卵状三角形
(タイザンフク)



平低三角形
(ヤエベニシダレ)



長楕円形
(カスミザクラ)



ひし状広卵形
(トウカイザクラ)

(4) サクラにおけるR・H・S・カラーチャート使用法及色別表

① サクラにおけるR・H・S・カラーチャート使用法

下記に示す方法で、このカラーチャートを使用した。

1. 標本（花や葉など）の色を測定する場合は、晴天日に直射日光を避け、北側の自然光によって室内または日陰で色合わせを行うこと。

尚、花や葉は採取後直ちに測定するか、やむえない場合は水で萎凋を回復させてから測定する。萎凋状態では決して測定しないこと。
2. 一般的に花色の測定は満開時に中庸の花2～3個を用いるが、より詳細に行う場合は下記に示した3段階の花を測定することが望ましい。
 - (イ) 開花直前の花蕾
 - (ロ) 極力完全に開こうとしている花
 - (ハ) 散りぎわの花（但し、散りぎわに花色が明らかに変化するもの）
3. 花は数種の色で構成されているが、そのうち最も代表的な色によって花色を表現すること。

測定の際は目をわずかに閉じて花と適当な色カードを腕を伸ばしたくらいの距離で比較する。
4. 色合せの際は、標本と色カードに均等に光が当たるようにし、又、背影は黒又は灰色のような無色の紙を用いることが望ましい。尚、近接した色は標本及び色カードの両方の色に影響することを注意しなければならない。
5. 目が疲労している場合は、決して色合わせを行わないこと。

② 色 別 表
若 芽 の 色

色	黄 緑	緑	緑 茶	茶	紅	
区 分	1	2	3	4	5	
R. H. S. 番 号	142-A	143-C	146-B	164-B (炭 茶)	39-B	
	144-B		C	164-C (黄 褐)	46-A (暗 紅)	
	C		152-A	165-B	178-A (暗紅褐)	
	145-A		-B	166-B	185-B (濃紅紫)	
	149-A		-C	-C	-C (紅 紫)	
	151-A		-D	168-A		
	-B		199-B (炭綠茶)	173-B		
	153-A			-C (炭 褐)		
				-D (炭 茶)		
				174-A		
				-B		
				-C (炭 茶)		
				175-C		
				-D		
				176-B (こげ茶)		
				-C		
			-D			
			177-C			
			178-B (紅 褐)			
			-C			
			-D			
			179-C (炭 褐)			

成葉の表面の色

色	緑	濃 緑	緑 紫	紅 紫	
区 分	1	2	3	4	
R. H. S. 番 号	137-C	131-A			
	138-B	132-A			
	139-C (淡 緑)	133-A			
	141-C	135-A			
	143-A	137-A			
	-B	-B			
	-C	139 A			
	144-A (黄 緑)	-B			
		141-A			
		-B			
		146 A			

成葉の裏面の本色

色	帯 白	炭 緑	緑	緑 紫	
区 分	1	2	3	4	
R. H. S. 番 号	138-C	123-A	137-C		
	-D	129-D	-D		
	193-A	134-C	138-A		
	194-C (灰 緑)	135-D	-B		
		139-D	139-B		
		142-C	-C		
		143-D	141-C		
			142-A		
			-B		
			146-B (濃 緑)		
			147-B (濃 緑)		

管の色

色	白	淡 紅	紅	濃 紅	紫 紅	黄 緑	
区 分	1	2	3	4	5	6	
R. H. S. 番 号	155-D	36-A	48-B	51-A	57-B	144-C	
		-D	52-B	52-A	-C	149-B	
		48-D	54-A	53-B	-D		
		49-C	-B	-C	59-B (暗紫紅)		
		51-D	55-A	-D	60-B (暗紫紅)		
		54-C			61-C (淡紫紅)		
		-D			66-C		
		55-B			67-A		
		-C			68-B (淡紫紅)		
		-D			71-D (紫)		
		56-A					
		-B					
		-C					
		-D					
		(極淡紅)					
		62-A					
		-C					
		-D					
		(極淡紅)					
		63-C					
		65-A					
		-D					
		68-C (淡紫紅)					
		-D (淡紫紅)					
		69-A (淡紫紅)					

花の色

色	白	淡 紅	紅	濃 紅	紫 紅	濃 紫 紅	緑 黄	複
区 分	1	2	3	4	5	6	7	8
R. H. S. 番 号	155-D	36-D	52-D	51-A	60-B		150-C	
		37-D	54-B		-C		-D (淡緑黄)	
		49-C			-D			
		-D			68-A (紫)			
		50-D			73-B			
		51-D						
		54-C						
		55-B						
		-C						
		-D						
		56-A						
		-B						
		-C						
		(極淡紅)						
		-D						
		(極淡紅)						
		62-C						
		-D						
		63-D						
		(淡紫紅)						
		65-B						
		(淡紫紅)						
		-C						
		66-D						
		(淡紫紅)						
		68-C						
		(淡紫紅)						
		-D						
		69-A						
		-C						
		(淡紫紅)						
		73-C						
		(淡紫紅)						